

公益社団法人日本地震工学会 第47回理事会議事録

A.日時：2020年8月6日（木） 16時00分～19時05分

B.場所：ZOOMによるオンライン会議

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）山中浩明，山田哲，秋山充良

（担当理事）徳光亮一，米澤健次，松岡太一，松島信一，樋口俊一，隈本邦彦，久保智弘，永野正行，小檜山雅之，丸山喜久，肥田剛典

（監事）久田嘉章，三輪 滋

欠席：（担当理事）清田 隆

オブザーバ出席：東 ESG6 運営委員会幹事長，小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D.議題および提出資料：

議題

報告事項

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1) 第46回理事会議事録（案）確認（米澤理事） | 資料 47-01 |
| 2) 会務報告（徳光理事） | 資料 47-02 |
| 3) 会計報告（松岡理事） | 資料 47-03 |
| 4) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 47-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 47-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 47-06 |
| 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（徳光理事代理報告） | 資料 47-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 47-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事） | 資料 47-09 |
| 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長） | 資料 47-10 |
| 11) ESG6 運営委員会からの報告（東 ESG6 運営委員会幹事長） | 資料 47-11 |

議案

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（米澤理事） | 資料 47-12 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（徳光理事） | 資料 47-13 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事） | 資料 47-14 |
| 第4号 2020年度大会の開催方法について（松島理事） | 資料 47-15 |
| 第5号 防災学術連携体 東日本大震災十周年シンポジウムについて（徳光理事） | 資料 47-16 |

懇談事項

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1) 創立20周年記念事業について（秋山副会長） | 資料 47-17 |
| 2) 表彰式の開催方法（案）について（徳光理事） | 資料 47-18 |

E.議事録：

議題

報告事項

- 1) 第 46 回理事会議事録（案）確認（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 47-01 に基づいて第 46 回理事会議事録の確認が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- 2) 会務報告（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 47-02 に基づいて会務報告がなされた。
 - ・ 会務報告に 2020 年 7 月 15 日に第 1 回事業企画委員会を実施した旨を追記することの指摘があった。
- 3) 会計報告（松岡理事）
 - ・ 松岡理事より資料 47-03 に基づいて会計報告がなされた。特に問題はなく承認された。
- 4) 広報部会からの報告（隈本理事）
 - ・ 隈本理事より資料 47-04 に基づいて広報部会からの報告について説明がなされた。
 - ・ 2020 年 6 月に発刊された「日本地震工学会誌第 40 号」を、通常配布している国土交通省、文部科学省、気象庁の記者クラブに加え、本号の特集が「17WCEE 開催に向けた取り組みと展望」であることから、仙台市の記者クラブにも配布したとの報告があった。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 47-05 に基づいて情報コミュニケーション委員会からの報告について説明がなされた。
 - ・ 日本地震工学シンポジウム資料の件、山中副会長が No.1~10 までの資料をお持ちとのことで、現在、事務局にあるものを調査のうえ、無い資料のみを事務局に送付して頂くことになった。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料 47-06 に基づいて会誌編集委員会からの報告がなされた。
 - ・ 若手研究者・技術者を対象としたアンケート調査結果についても報告された。
 - ・ 将来構想委員会では、学会全般の将来的な活動について議論し、何らかの提言をだしたいと考えており、本アンケート結果を有効に活用していきたいとの意見があった。
 - ・ 企画委員会においても、面白い企画の立案などにこの結果を有効に活用して頂きたいとの意見があった。
- 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（徳光理事代理報告）
 - ・ 清田理事の代理として徳光理事より資料 47-07 に基づいて国際委員会、地震災害対応委員会からの報告について説明がなされた。
 - ・ 中埜会長より英文ウェブページの更新（どのような情報を掲載すれば良いかなど）についても議論して頂きたいとの意見があった。
 - ・ 学会ウェブサイトの「地震情報」のアイコンをクリックしても、2019 年以降の地震が表示されないので更新することの要望があった。→IC 委員会で更新作業を行うことになった。
- 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）
 - ・ 小檜山理事より資料 47-08 に基づいて論文集編集委員会からの報告について説明がなされた。
 - ・ 英文化論文のリマインドメールを取りやめることについて議論した結果、リマインドメールが実際に役立っているとの意見もあったため、取りやめを中止し、今後も事務局から送付することにした。ただし、業務軽減を目的に、2・3か月に1度のペースで、まとめて配信することで検討しているとの報告があった。
- 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事）
 - ・ 丸山理事より資料 47-09 に基づいて事業企画委員会（企画）からの報告についての説明がなされた。
 - ・ 2020 年 7 月 15 日に第 1 回事業企画委員会を実施した旨を会務報告に追記することの指摘があ

った。

- ・ 福島第一原発の見学会についてはコロナウイルスの影響で現地訪問は難しい。オンライン見学会などの検討している。⇒東京電力の広報の方と連絡を取った方が良いとの意見があった。
- ・ 講習会は地震動だけでなく、新入社員研修や内定者研修向けとして、様々な分野も合わせて2日間くらいで行うのも良いのではないかと意見があった。⇒新入社員研修としてのニーズはあまりなく、内定者研修向けであればニーズはあるとの意見もあった。
- ・ 講習会などは、具体的にどのようなコースで、どのような人選で、どのようなふうをお願いするか、具体案を検討していただきたいとの要望があり、次回の理事会までに具体案を提示することになった。

10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長）

- ・ 中埜会長より 17WCEE 運営委員会からの報告について説明がなされた。17WCEE 運営委員会（8/5開催）では下記のテーマで議論されたことが報告された。

【議論テーマ】

1. 併設企画 BOSAI Expo.の会場選定（オンライン開催／並行開催も含め）
2. プロシーディングスの発行形態
2020年版（予定通り本年9月発行予定で準備中）
2020年+2021年版（来年の会議開催時に合わせて発行予定）
3. 会議中の各企画（基調講演，発表，ポスター等）の実施方法とおおよその経費
4. Cancel Policy
9月以降に新規および追加論文の募集開始予定，これに対する Cancel Policy の設定

11) ESG6 運営委員会からの報告（東 ESG6 運営委員会幹事長）

- ・ 東 ESG6 運営委員会幹事長より資料 47-11 に基づいて、第6回 ESG 国際シンポジウム運営委員会の議事内容について説明がなされた。
- ・ 17WCEE で何割程度会場来場者数を見込んでいるかの質問に対して、「現状では流動的で来場者数は把握できない。まずは現状の参加者に来るか？来ないか？のアンケートを取って、人数を把握したいと考えている」との回答があった。
- ・ 開催方法について、会場開催とウェブ開催のハイブリッド形式やオンデマンド形式の発表など、開催方法についての議論があったが、今後検討を進めることとなった。
- ・ 17WCEE の運営委員会の情報を入手した方が良いなどの意見があった。東 ESG6 運営委員会幹事長にオブザーバとして運営委員会に参加してみてもどうかとの意見があった。
- ・ ウェブ開催の場合では、特にオーガナイズドセッションなど、海外からの参加者においては時差の課題があるなどの意見もあった。

議案

第1号 入退会者（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料 47-12 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者として正会員2名、学生会員1名について異議なく承認された。また退会者として正会員1名、学生会員1名について異議なく承認された。

第2号 委員会委員の委嘱（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 47-13 に基づいて委員会委員の委嘱の説明がなされた。
- ・ 将来構想委員会の中に将来像検討 WG を期間限定で設ける件は異議なく承認された。
- ・ 地震工学会大会実行委員会に新規に6名の委員が追加された件は異議なく承認された。
- ・ スペシャルアドバイザーのリストを委員会名簿に追加した。更新の手続きの失念防止のため

め。

- ・ 将来像検討WGはメンバーが出そろい次第、8月19日と9月4日のいずれかで開催する。参加を希望される理事の方は、是非とも出席していただきたいとの申し出があった。

第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料47-14に基づいて後援2件の名義使用依頼が報告された。
- ・ 2件目の講習会に関しては「継続」とあるが「新規」とすること。
- ・ 今後のルールとしては、同シリーズの案件であれば「継続」とし、内容が異なる場合は「新規」との位置づけとする。
- ・ 後援2件については異議なく承認された。

第4号 2020年度大会の開催方法について（松島理事）

- ・ 松島理事より資料47-15に基づいて2020年度大会の開催について説明され、オンライン開催の可否、サポートを外注すること、および参加登録費について審議されたい旨の報告があった。
- ・ 審議事項のオンライン開催およびサポートの外注については異議なく承認された。
- ・ 日時は12月2日～3日にオンラインで開催する旨を会員にアナウンスすることに決定した。
- ・ 投稿のデッドラインは10月末とする。
- ・ 参加登録費の額に関しては、例年よりも安価にする方向で検討しているが、ドラスティックに下げると例年に戻す時に問題になる可能性があるため、収支バランスを考慮して決める必要があるなどの意見があった。参加登録費については検討し、次回理事会で審議することになった。
- ・ 優秀発表表彰についても例年通り実施することで検討すること。

第5号 防災学術連携体 東日本大震災十周年シンポジウムについて（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料47-16に基づいて防災学術連携体 東日本大震災十周年シンポジウムについて報告された。防災学術連携体より、本シンポジウムへの寄稿の依頼と本会からの発表者を出していただきたいとの依頼があった。
- ・ 寄稿または発表に関しては、第一候補として高田先生に、第二候補として有川先生に依頼することになった。
- ・ 依頼のメールは、中埜会長のお名前でご返信することです承された。

懇談事項

1) 創立20周年記念事業について（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料47-17に基づいて、創立20周年記念事業について説明がなされた。式典の開催については丸山理事より資料47-17に基づいて説明がなされた。コロナウィルの状況を見ながら、懇親会の規模や内容を検討する旨が報告された。式典の内容については、案1としては歴代会長のどなたかによるご講演、案2としては歴代会長複数人の挨拶+現会長によるパネルディスカッションを考えている。人選を審議いただきたい旨の申し出があった。
- ・ 他学会から来賓を呼ぶことはしないのか？との意見があり、検討するとの回答があった。
- ・ 対面で開催するのか、オンラインを活用するかを決めるデッドラインについて検討し、現状は両形式を並行して準備することとなった。
- ・ 歴代会長に挨拶をお願いするにしても、テーマを明確に設定する必要があるとの意見に対して、企画でテーマを検討するとの回答があった。
- ・ 総会と式典を兼ねることになっているが、現時点では記念式典を午前中、総会は午後を想定しているが、懇親会への流れを勘案してタイムスケジュールを検討する必要があるとの意見

があり、今後、委員会で案を検討することになった。

- ・ 式典は会員限定とするのか？との質問に対して、現状は会員限定を考えているとの回答があった。また、学生など若手の参加を促すよう配慮したいとの回答があった。

2) 表彰式の開催方法（案）について（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 47-18 に基づいて表彰式の開催方法（案）について説明がなされ、表彰式の開催方法案について議論した。
- ・ オンラインでの案 3 で開催する方向で具体案を検討することになった。
- ・ 案 3 で実施の場合、年次大会の行事で開催する方が費用的な面でも良いとの意見があった。
- ・ 該当者の都合を伺って、年次大会で開催するか、（案 2 の）事前に写真を撮影するかを決める方向で検討することになった。

3) その他（小檜山理事）

- ・ 英文論文集は 2014 年からスタートであったことの報告があった。
- ・ 8 月 3 日にメキシコの地震工学会会長よりメキシコの地震工学シンポジウムへの参加協力の呼び掛けに関するメールが事務局宛てにあった。宛先が北川先生になっていたのは、英語ホームページの本会の説明箇所が 2008 年から更新されていないことが原因であると思われる。
- ・ 英文のホームページのコンテンツ更新の対応を依頼することになった。清田理事経由で国際委員会の三浦先生に更新を依頼することとなった。

次回予定：第 48 回理事会 10 月 8 日（木）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 2 年 8 月 14 日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋